

## 2-1

## Ver.9.5 新機能

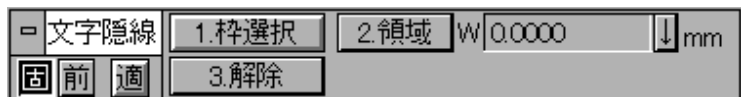
CADPAC-CREATOR Ver.9.5 で追加・拡張・変更・削除された機能の概要をまとめます。  
機能の詳細は、オンラインヘルプにてご確認ください。(Ver.9.0 からの差分です)  
[\*\*\*\*] は、該当のオンラインヘルプです。

## 1.2 次元汎用機能

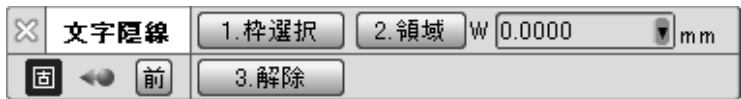
## 1. 新 GUI

従来の機能をそのままにインターフェースを一新し、よりカラフルに変更しました。あらかじめ用意されたカラーテンプレートにより好みの色にワンタッチで変更可能です。

旧 CSB



新 CSB



[ 基本操作2/CSB の機能と操作 ]

旧右パネル



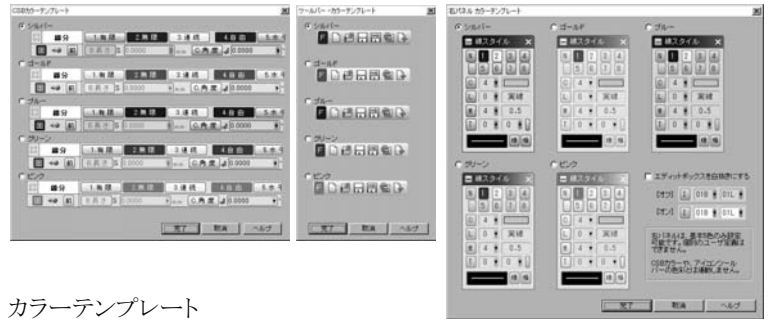
新右パネル



[ 基本操作4/ 右パネルの基本操作 ]



[基本操作2/アイコンメニューの操作]



カラーテンプレート

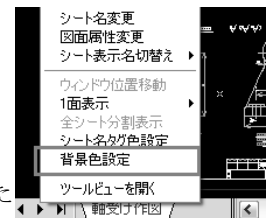
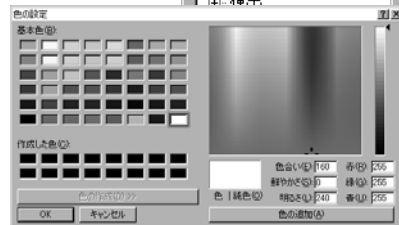
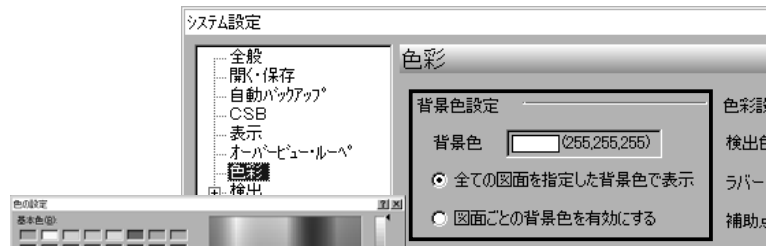
「シルバー」「ゴールド」「ブルー」「グリーン」「ピンク」の5色から選択できます。

2. システム設定・色彩  
画面背景色

白と黒以外の背景色の指定が可能になりました。カラーサンプルの部分  
をマウスでクリックするとカラー選択のダイアログボックスが表示されますの  
で、任意の色を選択します。

「図面ごとの背景色を有効にする」を有効にすると、図面だけの背景色を  
変更できます。設定された背景色は、図面のデータベースに保存され、  
次回起動時にも有効となります。「すべての図面を指定した背景色で表示」  
で変更されますが、チェックを「図面ごとの背景色を有効にする」と、固  
有の背景色で表示します。

[補助 / システム設定 / 色彩]



シートタグから背景色を設定できます。設定した  
背景色はその図面のみに適用されます。

### 3. 電子捺印

電子捺印は、本システムで作図した図面に印鑑を押す機能です。

セキュリティレベルが1以上の印鑑を押すと、以後、図面の編集や上書保存を禁止するセキュリティロック機能を持ちます。

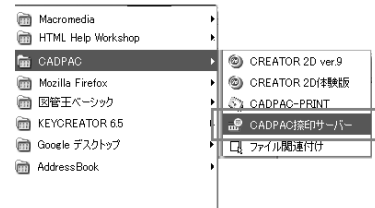
[構成 / 電子捺印]



#### ■捺印サーバー

使用する印鑑は、「捺印サーバー」によりあらかじめ保存された esf ファイルを参照します。

Windows のスタートメニューの【すべてのプログラム】から [CADPAC グループ - CADPAC 捺印サーバー] を指定します。フォルダを変えてインストールした場合は、そのドライブから、EStampManager.exe を指定します。



捺印サーバーは、本システムの電子捺印を管理するデータベースアプリケーションです。ここで電子捺印の登録、パスワードの設定、セキュリティレベルの設定をおこないます。

## 4. 開く、外部入力

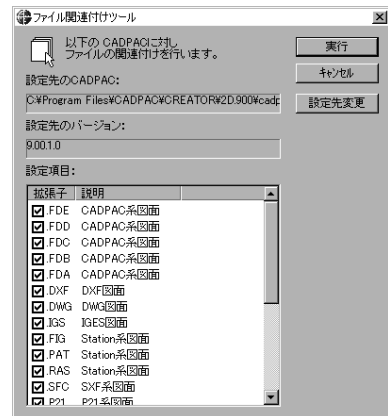
DXF/DWG、JW-CAD、ME10、CADSUPER などのファイルをエクスプローラからダブルクリックで、CADPAC が起動し開けるようになりました。  
 [ 基本操作 1/ エクスプローラ拡張 ]

この機能を使用するためには、事前に本システムの実行エグゼ (cadpac.exe) と、開く外部ファイルとの関連づけが必要条件となります。

Windows のエクスプローラで関連づけすることも可能ですが、本システムでは簡単に関連づけができるように、専用ツールを用意しています。

プルダウンメニューの [ ヘルプ - ファイル関連付け ] からワンタッチで指定できます。

[ ヘルプ / ファイル関連付け ]



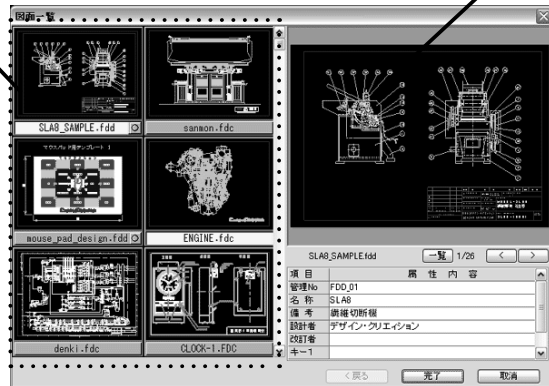
## 5. 図管王プレビュー

図管王プレビューの機能を拡張しました。一覧表示と拡大エリアを統合し、XCDFビューのオペレーションに従った拡大表示が可能となっています。また、図面一覧エリアから対象サムネイルをマウス W クリックすると拡大エリアに XCDF を表示します。

[ファイル / 開く]

図面一覧

拡大表示エリア



## 6. 枠選択

枠選択スタイルの種類が拡張されました。要素条件選択に「中心線・十字」「注釈」「バルーン」「埋め込み部品」「隠線パーツ」「塗り潰し図形」の 6 要素が新たに追加されています。

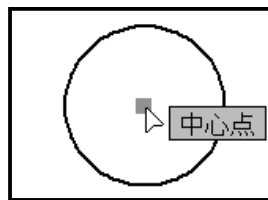
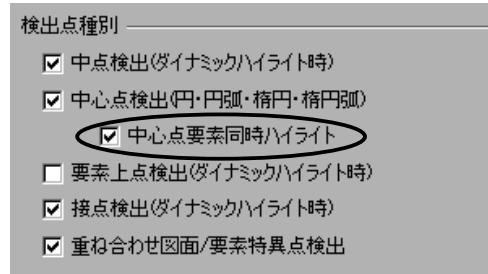
[編集 / 枠選択の概要]



## 7. システム設定・検出 ダイナミックハイライト

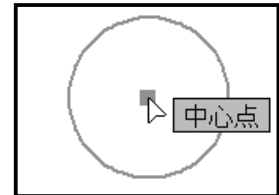
円の中心点が認識されると、同時に円もハイライト表示される機能が追加されました。「中心点要素同時ハイライト」にチェックを入れると機能がオンになります。

[ 補助 / システム設定 / 検出 ]



チェックオフ

中心点を検出しても円はハイライト表示されません。

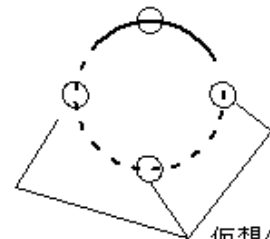


チェックオン

中心点を検出すると円も同時にハイライト表示します。

## 8. 仮想四分点

検出ツールバーに仮想四分点検出を追加しました。仮想四分点検出とは、円弧の延長上にある四分点を検出する新機能です。仮想四分点を検出したい円弧を選択すると右側の四分点を検出し、小さな「○」で表示されます。[Y/N] 選択ボックスが表示されるので、Y キーで確定すると、その位置に点を指定します。N キーを押すと半時計回りに他の仮想検出点を表示します。[ 基本操作3/ 点の検出方法 ]

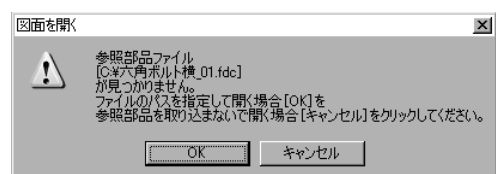


仮想四分点

## 9. 開く

参照部品が貼り付けてあるデータを開くとき、参照先のパスにデータが無い際に、読み飛ばせるようになりました。

[ ファイル / 開く ]



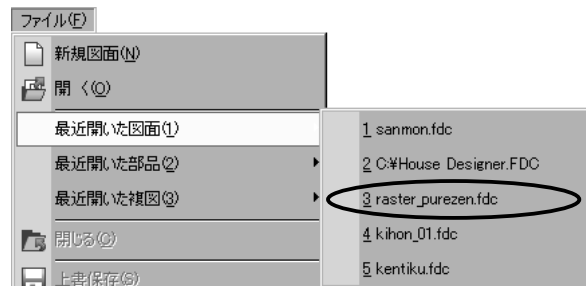
10. 開く

詳細モード時、プレビュー表示が可能になりました。  
[ファイル / 開く]



11. 最近開いたファイル

一番新しく開かれたファイルと保存先が異なるファイルは、一覧にファイルが保存されているパスが表示されるようになりました。  
[ファイル / 最近開いたファイル]



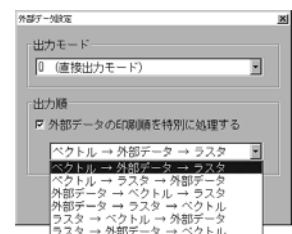
12. 図面文字列検索

検索の結果をCSV形式で保存できるようになりました。検索終了後、「CSV出力」をクリックすると保存できます。  
[ファイル / 図面文字列検索]



13. 出図

外部データ出力の処理順番を任意に指定できるようになりました。  
[ファイル / 出図]



## 14. 出図

「変更」をクリックすると開く出図環境選択ダイアログボックスに「複製」ボタンが追加されました。既存の設定をコピーすることができます。

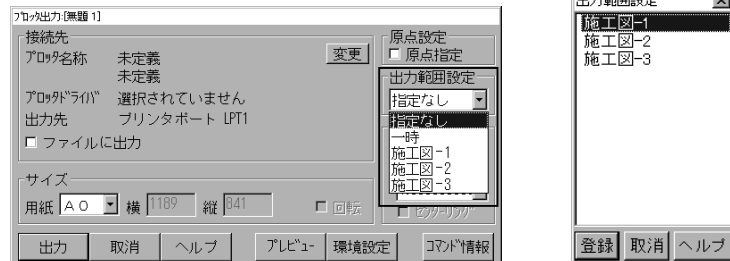
[ ファイル / 出図 ]



## 15. 出図

設定した出力範囲を保存し、任意に呼び出せるようになりました。出力範囲設定コンボボックス [ ▼ ] をマウス右クリックすると出力範囲を設定保存することができます。

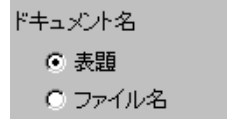
[ ファイル / 出図 ]



## 16. 出図 / 連続出力

出図 / 連続出力コマンドから渡される印刷ドキュメント名を「表題」もしくは「ファイル名」で切り替えられるようにし、Adobe PDFWriter 等のプリンタドライバで利用できるようになりました。設定は「出図」コマンド拡張設定ダイアログ「ドキュメント名」で行います。

[ ファイル / 連続出力 ]

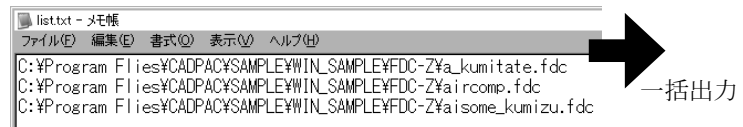
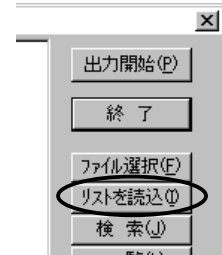




## 17. 連続出力

ファイルのパスを書き記しリスト化したテキストファイルから、出図するファイルを取得しリストに表示させる機能を追加しました。連続出力ダイアログボックス左にある「リストを読み込」から行います。

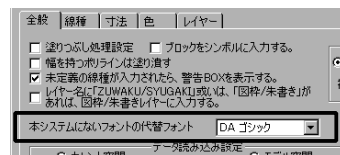
[ファイル / 連続出力]



## 18. DXF・DWG 入力

文字要素のフォント名に、[Simplex]といった AutoCAD 固有のシステムにないフォント名が表示されないように修正しました。システムにないフォントは、代替フォントの設定に従ったフォント名とします。設定は変換条件設定ダイアログボックス全般タブ「本システムにないフォントの代替フォント」で行います。

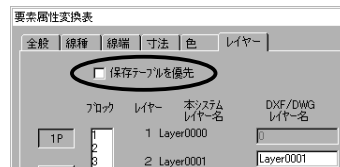
[ファイル / 外部入力 / DWG・DXF 入力]



## 19. DXF・DWG 出力

変換条件設定ダイアログボックスのレイヤータブに、「保存テーブルを優先」チェックボックスを追加しました。チェックボックスをオンにするとダイアログ図面ファイルのレイヤー情報にかかわらず、常に設定テーブルのレイヤー名で出力できるようになります。

[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]



## 20. DXF・DWG 出力

ユーザー設定色 (CADPAC 色 16 ~) の DXF, DWG 出力は、近似色への自動変換のみでしたが、ユーザー設定色についても AutoCAD 上の色番号を指定できるようになりました。「ユーザー設定色を自動変換する」を OFF にすると、色設定がスクロール可能になり、ユーザー設定色の DXF, DWG 色番号が入力できます。

[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]



## 21. DXF・DWG 出力

CADPAC で DXF/DWG 出力を行った際、線種属性が、AutoCAD の標準線種パターンよりロードされた DXF/DWG データに比べ、ピッチが異なっている場合、ほぼ同一の線種ピッチで出力されるように修正するようになりました。

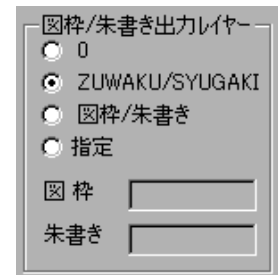
この修正により、AutoCAD の線種管理画面 (コマンド名 : LINETYPE) で表示される、「外観」プレビューが、AutoCAD 標準線種パターンとほぼ同一になります。また、「CADPAC LINETYPE」という、独自の [説明] も改め、AutoCAD と同様に線種名と実際の線タイプを出力するようになりました。

[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]

## 22. DXF・DWG 出力

図枠レイヤーの出力方法に、任意のレイヤー名称を設定できる項目を追加しました。変換条件設定ダイアログボックス「図枠 / 朱書き出力レイヤー」から設定できます。

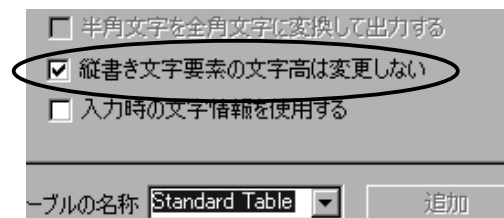
[ファイル / 外部出力 / DWG・DXF 出力]



## 23. DWG・DXF 出力

変換条件設定ダイアログボックスに「縦書き文字要素の文字高は変更しない」チェックボックスを追加しました。チェックボックスをオンにすると、変換時文字高さを固定します。

[ファイル / 外部出力 / JW-CAD 入力]



## 24. MCAD 入力

MCAD の寸法公差を CADPAC の交差として読み込めるようになりました。CADPAC にある公差形状の場合は公差属性を付加し、公差を変更することが出来ます。

[ファイル / 外部入力 / MCAD 入力]

## 25. JW\_CAD 出力

矢印と黒丸以外の線端の場合は線端分解して出力されるようになりました。これまでは線端ナシで出力されていましたが、これによって線端も出力されるようになります。

[ファイル / 外部出力 / JW\_CAD 出力]

## 26. 水垂線

CSB に「8. 通過点」を追加しました。「通過点」ボタンをオンにすると、通過点モードになります。通過点モードでは、作成する線分が通過する参照直線が表示され、その参照直線上の点を指定することにより、水平、垂直線分の始点・終点を指定することができます。

[作図 / 直線 / 水垂線]



## 27. 平行線

CSB に「E. 設定」を追加しました。平行線の線種や線色等を設定できます。[作図 / 直線 / 平行線]



## 28. 平行線 2

指定した間隔で複数の平行線を一括で作図できるようになりました。間隔入力ボックスにカンマ区切りで数値を入力すると、指定された間隔の本数分の平行線を作図します。

[作図 / 直線 / 平行線 2]



## 29. 補助線

CSBに「6. 一括」が追加されました。図面に対して端点・交点・中心点などを検出し、一括で補助線を作図します。

合わせて「9. 設定」に一括検出に関する設定を設けました。

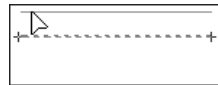
[作図 / 直線 / 補助線]



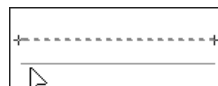
## 30. 補助線

「9. 設定」ダイアログに「方向指定」チェックボックスを追加しました。オンにすると、基準線に対して引く補助線の方向の指定ができるようになります。方向は補助線に対するマウスの位置で指定されます。

[作図 / 直線 / 補助線]



補助線に対してマウスカースルが上の場合



補助線に対してマウスカースルが下の場合

## 31. 公差

CSBに「8. 一括選択」を追加しました。枠で囲った範囲内全ての寸法値に対して公差を作図することができます。

[作図 / 寸法作図 / 公差]



## 32. 公差

ハメアイ公差選択ダイアログボックスを、一目で全ハメアイ公差が見えるように改良しました。

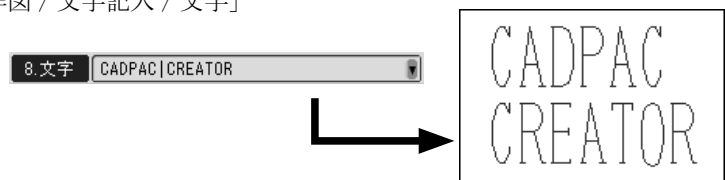
[ 作図 / 寸法作図 / 公差 ]



## 33. 文字

改行する文字列の後に [ | ] (半角 パイプ) を入力し、続けて次の行の文字列を入力することで複数段文字列の入力ができるようになりました。これにより複数段文字列の入力の際文字ボックスを開く必要がなくなりました。[ | ] (半角 パイプ) は [SHIFT] + [ ¥ ] キーで入力できます。

[ 作図 / 文字記入 / 文字 ]



## 34. 文字・注釈

機械部品を参照する際、部品名の参照の可否を選択できるようになりました。

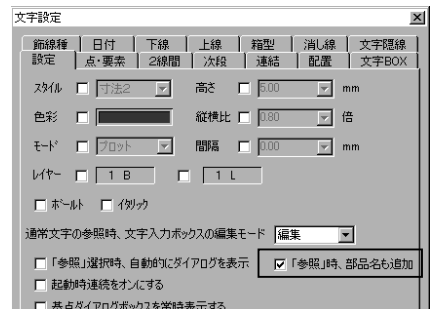
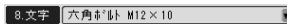
[ 作図 / 文字記入 / 文字 ]

[ 作図 / 文字記入 / 注釈 ]

チェックオフのとき



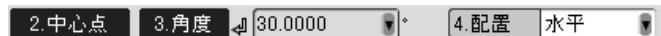
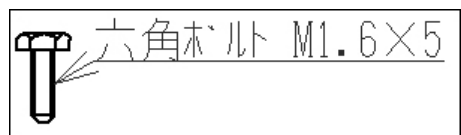
チェックオンのとき



## 35. 注釈

従来「2. 中心点」を指定した場合、「3. 角度」は入力禁止となり「4. 引き出し線」は「自由」のみ選択可能でしたが、今回より角度指定が可能となり、引き出し線も「自由」のほかに「垂直」「水平」も選択可能となりました。

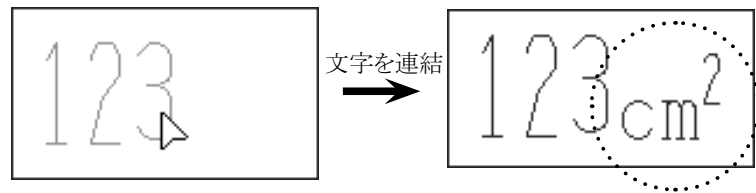
[ 作図 / 文字記入 / 注釈 ]



## 36. 連結文字

指定した文字列に対し、登録した別の文字列を呼び出し連結する新機能です。

[作図 / 文字記入 / 連結文字]



## 37. 吹き出し

これまでお試しコマンドだった吹き出しが今回正式コマンドとして実装されました。操作性が洗練され、より使いやすくなっています。

[作図 / 文字記入 / 吹き出し]



## 38. 文字列

Ver.9.5 から、文字列入力コンボボックスは前回入力した文字列を保持するようになりました。

[作図 / 文字編集 / 文字列]

## 39. 文字飾り

従来文字ボックスで入力した文字には、文字飾りが作図できませんでした。Ver.9.5 から文字飾りが作図できるようになりました。

[作図 / 文字編集 / 文字飾り]

## 40. 文字伸縮

文字伸縮実行時に、必ず文字列編集のダイアログボックスが表示されていましたが、「3. 設定」で、表示オンオフを指定できるようになりました。

[作図 / 文字編集 / 文字伸縮]



## 41. 文字伸縮

CSB に「3. 設定」「4. 伸縮」「5. 均等」「6. マージン」が追加されました  
[ 作図 / 文字編集 / 文字伸縮 ]



## 「3. 設定」

均等配置の複写時のレイヤー設定、およびマージン値の指定、文字列編集ダイアログ表示の可否の決定を行います。

## 「4. 伸縮」

文字の伸縮を行います。

## 「5. 均等」

文字の伸縮はせず、文字間隔のみで配置を調整するモードです。文字高と縦横比は変更しません。

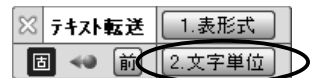
## 「6. マージン」

文字の開始部分と終了部分に設定されたマージンを分の余白を付ける機能です。均等配置ボタンがオンの場合にのみ有効です。

## 42. テキスト転送

コマンドを起動すると CSB が表示されるようになり、新モード「2. 文字単位」が追加されました。同じ Y 軸上に文字列があっても同じ行として認識せず、すべて文字列単位で改行しテキスト転送します。「1. 表形式」をオンにすると、従来のテキスト転送コマンドになります。

[ 編集 / 複写 / テキスト転送 ]



## 43. 切取消去

枠選択 CSB で従来選択できなかった「6. 枠上」、「7. 枠外」が選択可能になりました。枠上、枠外の要素を切取消去することができます。

[ 編集 / 消去 / 切取消去 ]



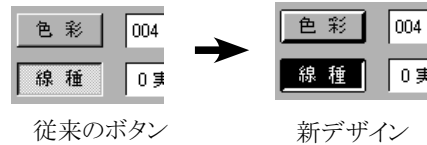
## 44. 重複線消去

要素数が多い図面を重複線消去した際に処理が途中で遅くなる現象を改善しました。

[ 編集 / 消去 / 重複線消去 ]

## 45. 線円スタイル

線円スタイルダイアログボックスのボタンを見やすいデザインに変更しました。[編集 / スタイル / 線円スタイル]



## 46. 部分スタイル

CSBに「1. 交点間」を追加しました。「交点間消去」コマンドのように、指定した要素を他要素と交わる交点間でスタイル変更します。

[編集 / スタイル / 部分スタイル]



## 47. 隠線パーツ

- ・パーツ作成
- ・パーツ変更

従来「設定」ダイアログボックスにあった表示要素設定をCSBに配置しました。その為「設定」ダイアログは無くなりました。

[構成 / 隠線パーツ / パーツ作成]、[構成 / 隠線パーツ / パーツ変更]



## 48. 計測

- ・面積
- ・重心
- ・重量

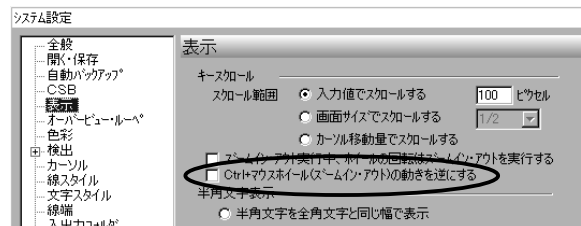
抽出要素の上限を256から2048要素に拡張しました。

[補助 / 計測 / 面積]、[補助 / 計測 / 重心]、[補助 / 計測 / 重量]

## 49. システム設定・表示

Ctrl+ マウスホイールの動き (ズームイン・アウト) を逆に設定できるようになりました。項目にチェックを入れると、ホイールを奥に回すとズームイン、手前に回すとズームアウトの操作になります。

[補助 / システム設定]

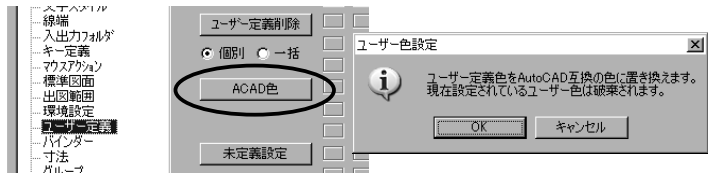




## 50. システム設定・ユーザー定義

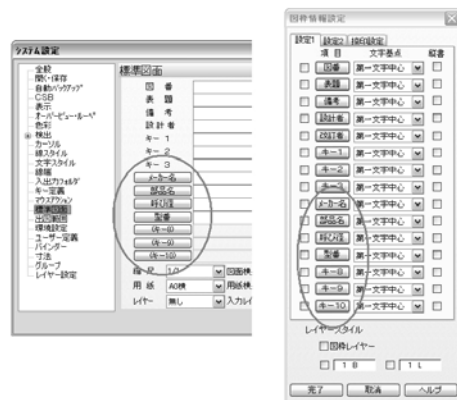
AutoCAD で定義される 256 色の色リストをボタン一つでユーザー定義色として設定できるようになりました。

[ 補助 / システム設定 / ユーザー定義 ]



## 51. システム設定・標準図面

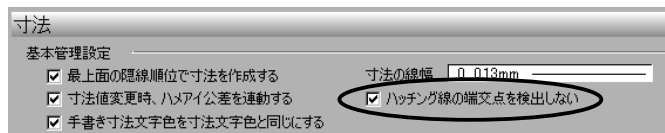
キー 4 ~ 10 に属性項目を設定した場合、図枠情報設定の項目ボタンに反映されるようになりました。[ 補助 / システム設定 / 標準図面 ]



## 52. システム設定・寸法

寸法を作成する際に要素の端交点を指定する場合、ハッチング要素を検出対象にするかどうかを設定します。

[ 補助 / システム設定 / 寸法 ]

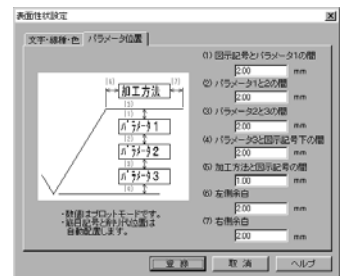
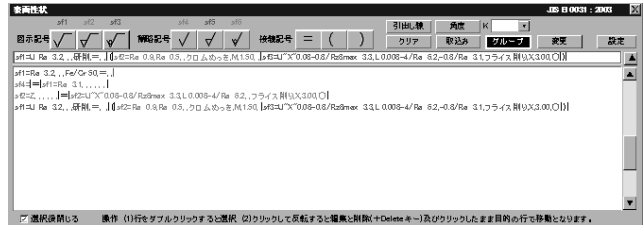


## 2. お試しコマンド

### 1. 表面性状

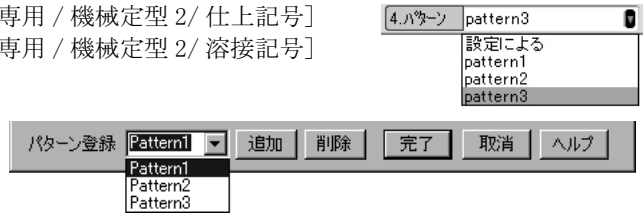
表面性状は最新 JIS に対応した面肌記号コマンドです。また、面肌記号では作図内容を保存できませんでしたが、作図と同時にその内容を一覧表として保存できるようになっています。

[ヘルプ / お試し / 表面性状]

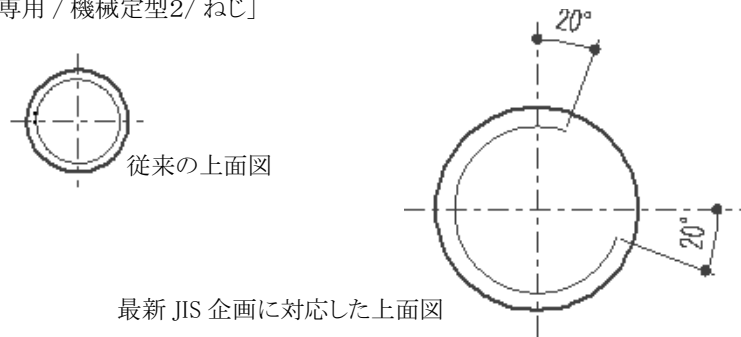


### 3. 機械オプション

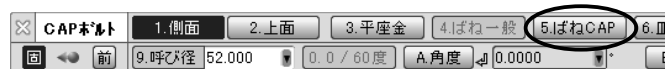
1. 仕上記号、溶接記号 仕上げ記号と面肌記号のパターン登録ができるようになりました。  
 [専用 / 機械定型 2/ 仕上記号]  
 [専用 / 機械定型 2/ 溶接記号]



2. ねじ 最新 JIS 規格に対応した上面図の作図ができるようになりました。  
 [専用 / 機械定型 2/ ねじ]



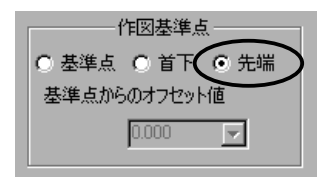
3. CAP ボルト CSB に「5. ばね CAP」を追加しました。CAP ボルト専用のばね座金を追加します。  
 [専用 / 機械定型 1/ CAP ボルト]



4. ばね座金 CSB に「5. 用途」を追加しました。CAP ボルト専用のばね座金を作図できます。  
 [専用 / 機械定型 1/ ばね座金]



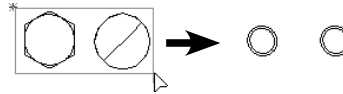
5. 止めねじ 要素の先端を作図基準点にする機能が追加されました。「A. 設定」から開いたダイアログボックスで作図基準点についての設定ができます。  
 [専用 / 機械定型 2/ 止めねじ]



## 6. タップ変換

平面図に作図されている「ボルト」および「小ねじ」類の上面図をタップに変換する新コマンドです。

[専用 / 機械定型 3 / タップ変換]



「2. 一括変換」の例  
枠選択し実行すると  
変換が完了します。

## 4. JIS 機械パーツ

## パーツ点数

パーツ内容が最新の Ver.9.5 版に変更となりました。  
データをインストールしてください。  
オンラインでご使用のお客様はインストールは不要です。

## 5. 外部データ貼り付けオプション

## データ貼付

従来のデータ貼付は一つの要素を貼り付けるごとにコマンドが終了していましたが、Ver.9.5 から、データを貼り付けてもコマンドが終了しないようになりました。

配置点指定中にマウス右クリックで範囲指定ダイアログが開きます。貼り付けるページの指定や画像の貼り付け範囲を再度指定することができます。[オプション / 外部データ貼付 / データ貼付]